

## 8. 小児科コース

小児科部長	阿部 孝典 (指導責任者)	日本小児科学会専門医 日本血液学会専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医・暫定教育医 日本臨床腫瘍学会暫定指導医 日本輸血細胞治療学会認定医 日本感染症学会感染症専門医・暫定指導医 インфекションコントロールドクター (ICD) 日本小児科医会子どもの心相談医
医師	品原 久美 (指導医)	日本小児科学会専門医
医師	鈴江 真史	

### 【一般目標：GIO】

小児科一般を広く経験し、家族と十分コミュニケーションが取れ、地域社会に貢献できる医師を育成する。

### 【行動目標：SBOs】

- ・一社会人として、患者やスタッフに対する言葉遣いやマナーを身につける。
- ・興味を持って診療に当たり、常に知識を吸収しようとする姿勢を持つ。
- ・末梢ラインを確実に留置できる。
- ・腰椎穿刺や骨髄穿刺等の手技の習得。
- ・予防接種など予防医学の習得と実践。
- ・乳児健診で子どもの発育・発達をチェックできる。
- ・夜間救急を含め、小児重症患者に一人に対応できる。
- ・呼吸管理が必要な新生児・未熟児に一人に対応できる。
- ・感染症を一通り経験し、適切な培養の提出と抗菌薬の適正使用を身につける。
- ・他科やコメディカルのスタッフとスムーズに連携できる。
- ・地域医療支援病院の医師として地域の研究会等に参加し、顔の見える医療を提供する。
- ・積極的に学会発表を行い、発表した内容は論文にする。
- ・社会問題になっている児童虐待や発達障害の児の診断とケアを行う。
- ・子どもの総合内科医として診療を行いながら、専門分野を選ぶ。

- ・日本小児科学会専門医取得。

### 【取得可能資格】

日本小児科学会専門医  
 日本感染症学会専門医  
 日本血液学会専門医  
 日本輸血・細胞治療学会認定医  
 日本がん治療認定医機構認定がん治療認定医

### 【経験目標症例等】

#### ①症例数

主要疾患名	症例数	経験目標症例数
急性気管支炎	80 例/年	80 例/年
喘息	60 例/年	60 例/年
感染症と推定される下痢および胃腸炎	50 例/年	50 例/年
ウイルス性およびその他の明示された腸管感染症	50 例/年	50 例/年
インフルエンザウイルスが分離されたインフルエンザ	50 例/年	50 例/年
急性咽頭炎・扁桃炎・喉頭炎	50 例/年	50 例/年
急性細気管支炎	30 例/年	30 例/年
その他の分娩合併症により影響を受けた胎児および新生児	150 例/年	150 例/年
新生児の呼吸窮<促>迫	30 例/年	30 例/年
その他および詳細不明の原因による新生児黄疸	30 例/年	30 例/年
川崎病	10 例/年	10 例/年
心身症、神経症、発達障害	30 例/年	30 例/年

### 【その他特色】

- ・週 2 枠の一般外来を担当し、外来診療のノウハウを身につけます。
- ・月 1-2 回の慢性外来で基礎疾患のある児のフォローアップをします。
- ・毎週の予防接種外来と乳児健診で、感染予防や発達に関わります。
- ・病棟は主治医制ではなく交代回診制のため、休みの日は完全フリーになります。
  
- ・高知市は夜間救急の輪番体制を敷いており、月 3 回/人の輪番当直があります。
  
- ・当直明けは朝 9 時からフリーにしています。
  
- ・月 1 回の夜間急患センター出務(20-23 時)と、年 3-4 回の 1 歳半健診があります。
  
- ・NICU 適応以外の、在胎 32 週以降のハイリスク児を受け入れています。